

三国峠と旧三国街道



三国峠の歴史についてはこちらのパンフレットもご活用ください。

上越境の山々は人の往来を阻んだようにみえますが、すでに石器時代や縄文の頃から人は行き来し、モノや文化を伝えていました。9世紀、蝦夷征伐で有名な坂上田村麻呂にちなんだ伝承が猿ヶ京に伝えられています。11世紀、陸奥で敗れた安倍貞任の一族などが流れ着いた伝承も付近には残されています。その後、新田氏が台頭すると、一部は峠を越えて越後地域にも勢力を広げます。1333年、新田義貞率兵の直後、越後から一族の援軍が駆けつけます。応仁の乱のさなか、1486年に発惠法印(ぎょうえほういん)は紀行文『北国紀行』に初めて三国峠の名を記します。戦国期、上杉謙信は何度も関東に出陣し、三国峠越えの道の改修が進められます。そして江戸時代に入り、脇往還として高崎から出雲崎(寺泊)を結ぶ三国街道として整備され、猿ヶ京には関所が置かれます。長岡藩などの参勤交代や、佐渡奉行などの通行に利用され、江戸時代後期には多数の無宿人などが佐渡へ送られていきます。一方、越後産の米は、三国街道を通過して江戸や関東各地に送られました。特に永井宿は継立問屋として大いに栄えたと言われます。幕末の三国峠を舞台に新政府軍と会津藩との戦闘があったものの、その後は信越線の開通によりこの峠を越える人は激減します。とはいえ、1957年に三国トンネルが開通、国道17号線が全通すると、再びこの峠を多くの人とモノが行き来するようになりました。



森の4つのタイプ



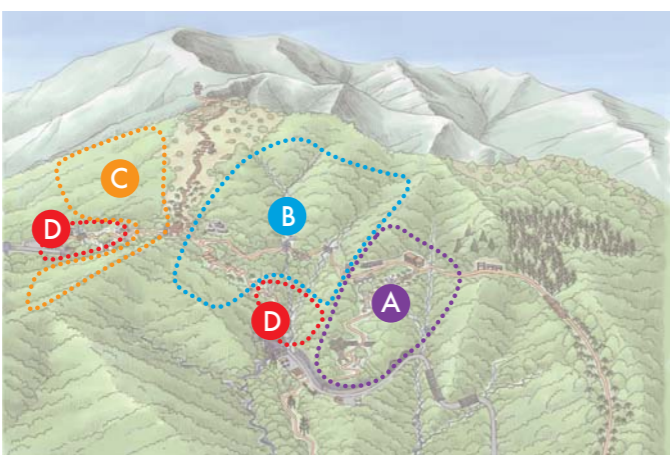
A プナとミズナラの林

自然のままの太くて大きなプナとミズナラが主役の森です。所々に倒木があり、森が世代交代している様子も観察できます。「長岡藩士の墓」付近は、ササ(チマキザサ)があり、見通しの良い林です。



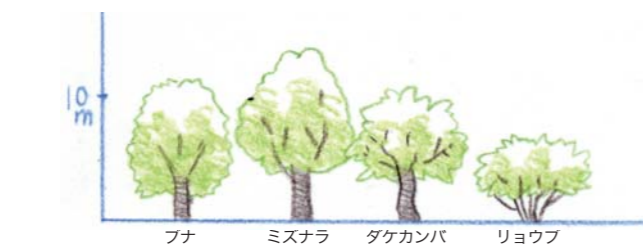
C ミズナラの林

プナが少なくミズナラが多い森です。プナは日当たりなど条件が良いところを好むので、北西を向いたこの付近はプナが少ないでしょう。ササ(チマキザサ)が地面を覆って、見通しの良い林です。



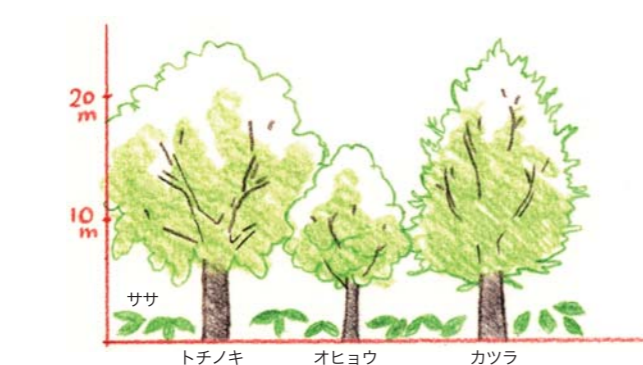
B ダケカンバとミズナラの林

三国峠周辺は、冬は3mを越える積雪があり、急斜面であることから雪崩が頻発する厳しい環境です。そのため、プナ・ミズナラは標高があがるにつれて、樹高が段々と低くなります。一方で、雪崩などの跡地に出現するダケカンバや、土砂の安定しない場所や岩からの染み出しが見られる場所での小さなお花畑が見られます。



D 水辺の林

水辺には、トチノキ、サワグルミ、オヒョウ、カツラなど水辺を好む樹木が主役の森になっています。



旧三国街道・三国峠を歩こう！

おすすめのコース

三国峠越えコース 約2時間

樹齢200年を超えるプナ・ミズナラの森など4つのタイプの森の変化と、街道沿いの史跡から旧三国街道の歴史を楽しむコース。群馬県から新潟県へ抜ける片道ルートです。

三坂線入口 約30分 → 晶子清水 約5分 → 長岡藩士の墓 約40分 → 三国峠(三国権現) 約30分 → 新潟側登り口

三国権現から5分ほど登ると群馬県側が見渡せる地点があります。



旧三国街道周回コース 約2時間

旧三国街道を楽しむ周回コース。4つのタイプの森の変化や、街道沿いの史跡から旧三国街道の歴史を楽しむことができます。

三坂線入口 約30分 → 晶子清水 約5分 → 長岡藩士の墓 約40分 → 三国峠(三国権現) 約30分 → 三国トンネル群馬側入り口 約3分 → 三坂線入口

三坂線入り口駐車場を利用して周回コースを楽しめます。

三国山コース 約4時間

三国山中腹のお花畑と谷川連峰を見渡す絶景ポイントを目指すコース。標高差 600mを登り、三国山山頂からは南側に景色が広がり、三国山北側の絶景ポイントでは、新潟と群馬の県境稜線(平標山、仙ノ倉山等)と「赤谷の森」の絶景を楽しむことができます。三国権現から三国山周辺は、中腹のお花畑を中心に、初夏～夏の間様々な高山植物を楽しむことができます。

新潟側登り口 約40分 → 三国権現 約30分 → お花畑 約30分 → 三国山山頂 約30分 → 絶景ポイント 約30分 → お花畑 約30分 → 三国権現 約30分 → 新潟側登り口

お手軽コース 約40分

天然の湧き水「三国権現神水」を目指して往復するコース。溪流沿いに、沢の音と鳥の音を楽しめます。途中、ハート型の葉を持つカツラの木も見どころです。

新潟側登り口 約20分 → 三国御神水 約20分 → 新潟側登り口

季節毎の魅力

旧三国街道・三国峠周辺は季節毎に違った楽しみを用意してくれています。

早春

4月下旬～5月中旬
雪がとけ、樹がまだ葉をつける前の数週間だけ出会える花があります。



ショウジョウバカマ キクザキイチゲ



落葉した時期だけ見ることのできる「宝岩」。

春

5月上旬～6月
淡い緑色の森の中を可憐な花が彩ります。森の緑色が濃くなりはじめるとエゾハルゼミの大合唱。沢の中からはタゴガエルの声か聞こえてきます。



シラネアオイ トウゴクミツバツツジ

夏

7月
三国峠から三国山までの登山道沿いに様々な高山性のお花を楽しむことができます。ゆっくり鑑賞しながら歩きましょう。



ニッコウキスゲ ジョウシュウオニアザミ クガイソウ

晩夏

8～9月
夏から秋にかけても、まだまだ楽しませてくれるお花がたくさんあります。



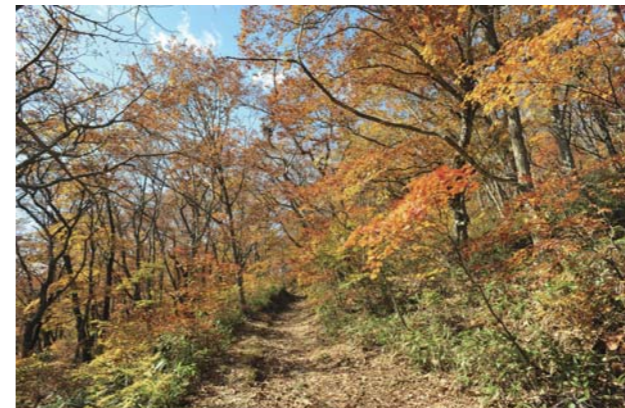
トリカブト フングロセンノウ カリガネソウ

冬

11月～4月
紅葉が終るといつ雪が積もりはじめてもおかしくありません。翌年の4月まで雪が残ります。厳しい季節ですが、天候さえ良ければ澄んだ空気と積雪がつくり出す風景はすばらしいものです。



新緑の街道



森の様子



カエデ



！ 注意事項

- 標高1000m以上のこのエリアは、天候が急変して風が強まることが、雨や雪が降ること、急激に気温が下がる場合があります。雨具・防寒着は必ず用意しましょう！
- 森にくらす動植物を傷つけたり、持ち帰ったりしてはけません。そんな人を見かけたら注意しましょう！

！ 注意したい森の動物

●ヤマビロ

【分布】 長岡藩士の墓よりも低標高の場所に分布する。三国権現周辺とそれよりも高標高にはいない。活動期は5月頃～10月頃。雨の後は特に注意が必要。
【予防】 靴に虫除けスプレー等をかけ、ズボンの裾を厚手の靴下の中に入れて靴を履くことにより予防できる。
【対応】 血を吸われたら、虫除けスプレー等をかけて外す。抗ヒスタミン軟膏を塗り、絆創膏を貼る。



●スズメバチの仲間

【分布】 地面や樹木の洞に巣をつくる種類に要注意。活動期は6月頃～10月頃。
【予防】 近くに来てても手を振るなど、追い払おうとしない。巣に近づかない。そのために歩道を外れて林内に入らない。「カチカチ」と威嚇音が聞こえたらすみやかに立ち去る。
【対応】 ショック症状がある場合、症状がひどい場合はすみやかに病院へ。患部を水等で冷やし、抗ヒスタミン軟膏を塗る。



●ツキノワグマ

【分布】 どこで出会ってもおかしくない。特に早朝や夕方には要注意。
【予防】 音を出す事で人間の存在を知らせる。仔グマの場合、周囲に親グマがいる可能性が高いので絶対に近づかない。
【対応】 出会ってしまった場合は、ゆっくりと後ずさりで離れる。



旧三国街道・三国峠を歩こう！



赤谷プロジェクト・地域づくりWG
みなかみ町観光協会

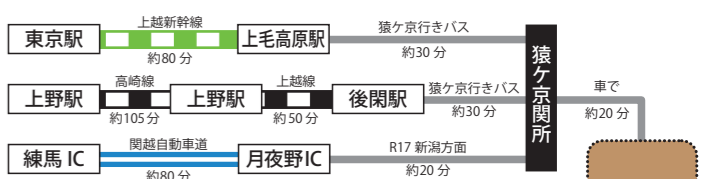
赤谷プロジェクト

このマップで紹介した旧三国街道・三国峠は、新潟県との県境、群馬県みなかみ町の北西部「赤谷(あかや)の森(もり)」にあります。「赤谷の森」は利根川の支流赤谷川の最上流部にあたり、平標山、仙ノ倉山を含む1万ha(10km四方)の国有林です。「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」を目的として、林野庁関東森林管理局と、赤谷プロジェクト地域協議会、日本自然保護協会の3団体の協働による森林管理「赤谷プロジェクト」が行われています。一緒にプロジェクトに取り組んでいたたくボランティア・サポーターも募集しています。プロジェクトについては以下にお問い合わせください。



赤谷プロジェクトHP <http://www.nacsj.or.jp/akaya/>
赤谷プロジェクト地域協議会 事務局: ☎0278-66-0888
赤谷森林ふれあい推進センター ☎0278-60-1272
日本自然保護協会 ☎03-3553-4107

「旧三国街道 三国峠エリア」へのアクセス



※猿ヶ京三国温泉郷(法師温泉、猿ヶ京温泉、川吉温泉・湯宿温泉等)にご宿泊の方は、宿泊先で送迎できる場合がありますのでご相談ください。

- タクシー(群馬県) 新治タクシー ☎0278-66-0631
関越タクシー ☎0278-72-3131
- タクシー(新潟県) 魚沼交通 ☎025-784-2025
湯沢タクシー ☎025-784-2660
アサヒタクシー ☎0120-109-481
- レンタカー 駅レンタカー上毛高原駅 ☎0278-62-2919
トヨタレンタカー上毛高原駅 ☎0278-62-0100

アクセス・ご宿泊等のお問い合わせは
みなかみ町観光協会 TEL: 0278-62-0401 FAX: 0278-62-0402
<http://www.enjoy-minakami.jp/>

協力: 三国山の会

*平成24年度地球環境基金の助成を受けて作成しました。

旧三国街道・三国峠を歩こう！ Walking MAP

平標山 1984m

View Point

「赤谷の森」の源流部です。日本海側と太平洋側をわける山々が目の前に広がります。



大源太山 1764m

三国山 1636m



カモシカ

サラサドウダンの森

7月頃、赤いサラサドウダンツツジのトンネルができます。

お花畑

7月中旬頃、黄色いニッコウキスゲが一面に咲きます。新潟側、群馬側とも眺望が開けているので休憩にぴったり。



ツキノワグマ

新潟側
駐車場
1087m



三国権現御神水

一年を通じて 10℃程度を保つ湧き水。その冷たさを感じてみよう！

View Point

三国峠から5分だけ登れば群馬県側の眺望が開けます。国道17号の上部に併行した旧三国街道の道筋を見ることができます。



宝岩

落葉期にだけ見ることができます。

長岡藩士の墓 1240m

地面がササ(チマキササ)に覆われて樹の本数が少ないので、この辺りは、周囲の見通しが良く、気持ちの良い場所です。ベンチの近くにある、ツルツルとして、白っぽい樹皮は、この森を代表する樹「フナ」です。(高さ22m、周囲は182cm)



ノスリ

三国峠と御坂三社神社(三国権現)

「三国峠」は上野国と越後国を結ぶ三国街道の名前の由来となった峠です。三国街道最大の難所でもあり、江戸中期以後は旅人の往来、物資の輸送も多く、冬期間であっても交通の途絶えは一日たりとも許されなかつたため、往来の救助を行う「お助け小屋」があったほどです。峠には、上野赤城明神、信濃諏訪明神、越後弥彦明神を祀った「御坂三社神社(三国権現)」があります。

カツラ

ハート型の葉と複雑な枝振りの「カツラ」。秋には黄葉して甘い香りを漂わせます。



ヤマドリ

ブナの鼻

冬の間、3m以上も積もる雪と、その中で粘り強く成長した証「ブナの鼻」。どうやって出来たか想像してみてください！

V字ミズナラ

この森を代表する樹「ミズナラ」です。V字型に枝分かれした立派なこの樹は、高さ17m、周囲の長さ405cm、樹齢は200年~300年と聞かれます。

ナツツバキの大木

ピンクがかかった樹皮に注目！大木といっても、高さ19m、周囲の長さは144cmほど。でも、ツバキの仲間ここまで太い樹は珍しいのです。7月には白くて大きな花が見られます。

根上りブナ

ちょっと不思議なかたちをしたブナの木に出会いました。樹齢100年を越えるだろうという大木は、まるでふたつの足で立っているように根が生え、その間に大きな穴が開いているのです。これはいつたいたなんなのでしょう。これには長い年月をかけた物語があるのです。

…(中略)…
二股に広がった根の大きなすき間、これは、命がひきつがれたという、証だったのです。目には見えないけれど、森はゆっくりと動いていて、いろいろなどころでそっと、「命のリレー」が行われているのです。(「赤谷ノート」より)



アサギマダラ



アカネズミ

群馬側
入り口
1100m



三坂線
入り口
1070m



三坂線
駐車場



赤谷ノートを読んで赤谷の森を歩けば楽しさ倍増！森の生物多様性を、多彩なお話と豊富な写真・イラストで紹介しています。

(¥1000)

国道17号線

猿ヶ京温泉

永井宿